

### 3. 福原地区

#### (1) 福原地区の地勢と人口の推移

地域は北部と南部に大きく分かれており、北部は蛇行した最上川により形成された平野と段丘、丘陵地、その両岸に迫る山地により形成されています。南部は尾花沢盆地の北側、野尻川と丹生川により形成された平野と段丘、丘陵地、北東へと連なる山地により形成されています。

北部の蛇行する最上川の西に毒沢、旧道(羽州街道、国道13号)沿いに名木沢、芦沢、野黒沢、荻袋集落があり、野尻川の上流には、寺内・西原集落があります。

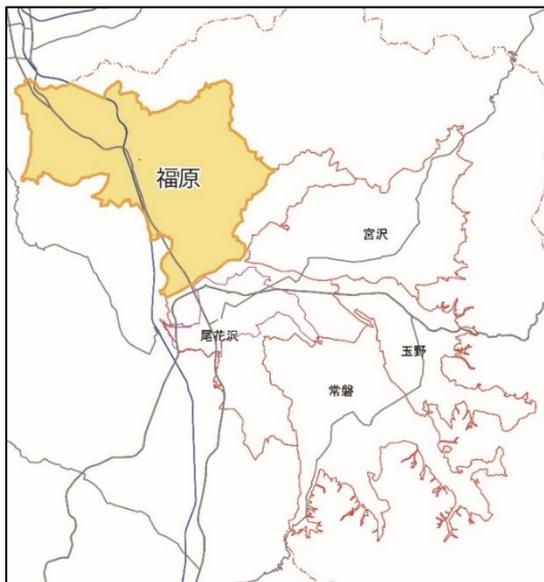


図 福原地区位置図



図 人口推移と年齢3区分人口割合

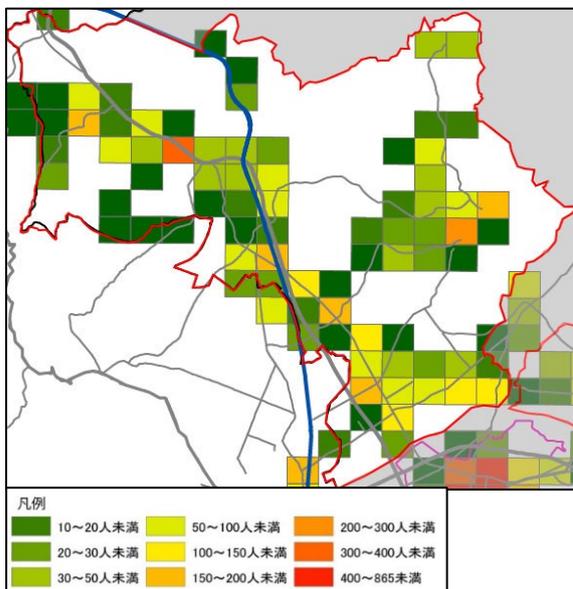


図 500m人口メッシュ

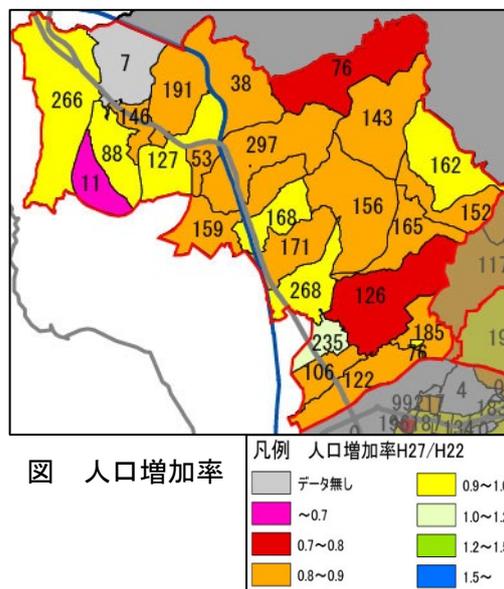


図 人口増加率

### <人口推移の状況>

福原地区は5地区の中で尾花沢地区に次いで人口の減少率(H27/H17)が低くなっています。尾花沢地区に隣接する荻袋において人口の増加がみられる一方、上の原や山間部に近い南沢、荻袋開拓において人口が大きく減少しています。

## (2)福原地区の特性と現況について

(福原地区の特性)

福原地区は広域軸となる東北中央自動車道や国道13号縦断しており、芦沢には本市唯一の駅が立地しているなど本市の交通の要所となっています。産業の中心である農業を背景に形成された集落が多く、本市における西瓜の主産地となっています。一方で、本地区には福原工業団地があり、本市工業の振興を担う中心地となっています。また、芦沢駅周辺には東北中央自動車道尾花沢北 IC があり、隣接して「道の駅尾花沢」が立地しています。「道の駅尾花沢」は地域内の経済、観光、防災の拠点として、今後なお一層の充実を図っていく必要があります。

(主要施設・交通インフラ・自然環境・防災)

- ・野黒沢に地区公民館、名木沢に名木沢生涯スポーツ交流センターがあり地域コミュニティの中心となっています。生活関連の施設は、一般県道東根尾花沢沿線を中心に点在しており、寺内に教育施設として福原小学校、野黒沢に福原中学校、荻袋に保育施設としてよつば保育園があります。また、荻袋と芦沢に福祉施設があります。
- ・道路については、広域軸となる東北中央自動車道や国道13号、市街地と舟形町を結ぶ一般県道東根尾花沢線、宮沢地区を結ぶ一般県道荻袋正殿線、寺内につながる一般県道新庄長沢尾花沢線が地域の骨格道路となっています。また、主要道路沿線にバス路線があり、各集落において概ねバスの利用が可能です。
- ・自然環境については、最上川、丹生川及び野尻川沿いには優良な農地が広がり、その周りを美しい景観が縁取っています。
- ・最上川及び野尻川流域の農地周辺を中心に洪水浸水区域があり、寺内、南沢の山間の急傾斜地には土砂災害の危険性のある区域が広がっています。

### (3)まちづくりの目標と方針

#### ●まちづくりの目標

「交通の利便性を活かした交流の促進と本市産業をけん引するまちづくり」



#### <まちづくりの方針>

- ①各集落における集落機能の維持とコミュニティ施設等を結ぶ交通ネットワークの形成
- ②市街地や他地域を繋ぐ道路交通網等の確保
- ③東北中央自動車道、国道13号を活かした産業の活性化
- ④最上川及び野尻川周辺の洪水浸水区域と地区内の土砂災害警戒区域における適切な防災対策

#### ①集落と主要施設を繋ぐ交通ネットワークの形成

・福原地区は、主要幹線道路沿線に地区公民館やスポーツ交流センターのコミュニティ施設があることから、地区内において地域コミュニティ等集落機能の維持が図られるよう、タクシー等を活用した地区内での移動手段の確保や集落と主要施設を結ぶバス、タクシー等を活用した交通ネットワークの形成を図ります。

#### ②市街地や他地域を結ぶ道路交通網等の整備

・生活と産業の更なる発展を目指し、市街地や他地域を結ぶ一般県道東根尾花沢線を始めた骨格道路の維持と猿羽根大橋等各集落を繋ぐ橋梁の長寿命化を関係機関と連携しながら進めます。また、医療機関への通院等市街地を結ぶ利便性の高い公共交通の整備を推進するとともに、芦沢駅を活かした他地域との交流の促進を図ります。

#### ③交通の要所である利点を活かした産業と観光交流の活性化

・東北中央自動車道は令和4年の全線開通により、縦断道路として大幅な機能強化が図られます。尾花沢北 IC 脇に立地する「道の駅尾花沢」については、観光拠点としてはもちろんのこと、地域の経済と防災の拠点としての機能強化を進め、地域の人々を結びつける施設として充実を図ります。また、工業団地への企業誘致により雇用の場を創出し、就労者の地元定着を図ります。

#### ④優良農地の保全と居住エリアにおける土砂災害対策の実施

・地区内を蛇行して流れる最上川や野尻川沿岸を中心に、洪水浸水区域が広がっていることから、関係機関と連携しながら適切な洪水浸水対策を進め、優良農地の保全を図ります。また、寺内の一部、南沢に広がる土砂災害警戒区域内の安全対策を進めます。

